

専門研修課程Ⅱ ケアマネジメント演習用 事例シート

科目名 状態に応じた多様なサービス(施設サービス)の活用に関する事例

事例の概要

長崎市に生まれた A さんは、看護学校を卒業後、地元の病院に勤務した。25 歳のときに結婚して 2 男 1 女に恵まれた。子どもたちを育てながらも勉強熱心で向上心も高く、定年まで看護師として働き、退職時は看護師長であった。子どもたちはそれぞれ結婚して、長男・長女は隣市に、次男は県外に居を構えた。

定年後は夫と二人で暮らしていたが、72 歳の時に夫が他界し、独居生活となった。A さんは夫を亡くしてからは一人でいることが多く、町内会の役割は果たしていたものの、活動的な性格から一変、近隣の人とは会えば話をする程度で、徐々に交流も減っていった。

74 歳の頃から、物忘れなどが見られ始めた。それまでは特に気にすることもなく生活していたが、やがて物忘れが多くなり日常生活にも支障が出るようになった。次第に独居生活に困難が生じてきたため、長女のすすめで県内の病院を受診し、検査入院することとなった。検査の結果、正常圧水頭症とパーキンソン病であると診断され、正常圧水頭症は手術適応外であることが分かった。

基本情報に関する項目

|                 |  |
|-----------------|--|
| 受付年月            | 令和 5 年 6 月   |
| 受付担当者           | 介護支援専門員  |
| 受付経路            | A さんは検査入院の後、半年ほど長女宅で生活していたが、長女夫婦は仕事をしており、A さんも長女夫婦も互いに気を使うようになったため、A さんは自宅に戻り、長女が、地域包括支援センターに相談し、小規模多機能型居宅介護事業所に紹介となる。   |
| 氏名・性別・年齢・住所・電話  | A さん 女性 75 歳 156cm 45 kg   |
| 家族状況            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長男：45 歳。隣市に在住しており、自営でトラック運送業を営んでいる。自分もトラックを運転することがある。週末には様子を見に来る。</li> <li>・次男：42 歳。県外在住で、年に 1 回程度帰省する。</li> <li>・長女：40 歳。キーパーソン。隣市に在住しており、何かあればすぐに来てくれる。</li> </ul>   |
| 生活状況            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・7 時頃：目が覚めるが、布団から出ようとしめない。</li> <li>・8～9 時頃：長女が電話で、朝食摂取と服薬の声かけをする。</li> <li>・日中：布団の上で過ごすことが多い。</li> <li>・12 時：昼食（食べないこともある）。</li> <li>・17 時頃：長女が電話で、夕食（配食弁当やコンビニ弁当など）摂取の声かけをする。</li> <li>・18 時頃：布団に入って横になっている。</li> </ul> |
| 保険・他法情報         | 厚生年金受給   |
| 現在利用しているサービスの状況 | なし   |
| 障害高齢者の日常生活自立度   | A2   |
| 認知症である高齢者の日常生活  | Ⅱ b  |

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 自立度    |                                     |
| 主訴     | 自分の家で生活したい。人に気を使うのが嫌だ。自分のことは自分でできる。 |
| 認定情報   | 要介護1（令和5年5月1日～令和6年4月30日）            |
| 課題分析理由 | 初回                                  |

## アセスメントに関する項目

|             |   |
|-------------|---|
| 健康状態        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常水頭症、認知症の症状がある。（金銭管理・服薬管理・排泄が上手にできないなど）。</li> <li>・パーキンソン病：歩行時不安定であり、パーキンソン病特有の日内変動が強い。</li> </ul>   |
| ADL         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝返り・起き上がり：物につかまればゆっくりとできるが、倦怠感が強く動作も遅い。</li> <li>・座位：背もたれなどを利用すればできる。</li> <li>・両足での立位：物につかまれば10秒程度なら安定しておりできるが、長時間はふらつきがみられる。</li> <li>・歩行：パーキンソン病特有の小刻み歩行が見られ、初めの1歩が出るまでに時間がかかり調子によっては移動にかなりの時間がかかっている。杖は、上手に使用することができないため使用していない。回転時はふらつきがあり、以前より転倒することも増えてきている。大きなけがには至っていない。</li> <li>・移乗・移動：何とか自立している場合と、全面的に介助が必要な場合もあり、その落差が大きい。</li> <li>・排泄：尿意はあり本人の体調が良いときには、自分から進んでトイレに行く。布パンツにパットを使用。間に合わず失禁することが増えており漏れも多い。</li> <li>・排便：便意はあり服薬によりコントロールしている。</li> <li>・食事：自力で摂取しているが、声かけしないと食べないことがある。</li> </ul> |
| IADL        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理・買い物・洗濯・掃除は、来たときに長女が行っている。</li> <li>・金銭的な管理ができない。</li> <li>・月・水・金曜日に、地域にある配食サービスを利用している。</li> </ul>   |
| 認知          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常圧水頭症による認知症の症状がある。</li> <li>・物忘れがあり、薬を飲んだことも忘れてしまう。ガスの消し忘れがあるのでIHクッキングヒーターに変えている。</li> <li>・一度にたくさんのことは覚えられない。表情がなくなっている。</li> <li>・時に声かけの内容が理解できないことがある。</li> </ul>   |
| コミュニケーション能力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の自分の状態を人に見られるのを嫌がり、外に出たがらない。</li> <li>・人から声をかけられると、返事はできるが自分から話をするのはあまりない。</li> <li>・常時人の顔色をうかがっているようである。キョロキョロ周囲を見回すことがある。</li> <li>・相手に慣れると、言葉が返ってくることもある。小声である。</li> </ul>   |
| 社会との関わり     | <p>（社会交流・参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気になってからは、全くといってよいほど外に出ようとしない。</li> <li>・近所の人と会話をしている様子がない。</li> <li>・民生委員が月に2回ほど様子をみに来てくれる。</li> </ul>  |
| 排尿・排便       | 服薬によりコントロールしている。便意はあり、トイレに移動できる。  |
| じょくそう・      | 特になし。   |

|       |  |
|-------|--|
| 皮膚の問題 | 特に問題はない。   |
| 口腔衛生  | 歯磨き・うがいはできるが、磨き残しがあり不十分である。  |
| 食事摂取  | 常食。自力で箸で摂取しているが、お弁当がそのまま残っていることがある。  |
| 行動障害  | (行動・心理症状等)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲低下がある。身体的に動けないのか、意欲がないのかの判断が難しい。</li> <li>・1日中、布団の中に寝ていることもある。</li> </ul>  |
| 介護力   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長女が、週に数回来ている。</li> <li>・週末には長男の妻が来ているが、本人の気持ちとしては介護されるのが嫌なのか、来ても介護を受け付けられないときがあり、十分な介護力とはなっていない。</li> </ul>  |
| 居住環境  | (地域の状況・住環境)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・のどかな地域である。隣近所とは隣接しているが、ほとんど空き家になっており、人の行きかうようなにぎやかさはない。</li> <li>・手すり設置はなく、家の出入りは勝手口から行うが、段差が大きくものにつかまらないと降りられない。室内も、敷居などの細かい段差が多くつまずきやすい。</li> </ul> |
| 特別な状況 | なし   |

長崎県介護支援専門員連絡協議会 (転用禁止)